

野口ひろあきの 一般質問



1. 総合的危機管理指針・ガイドラインの策定を

(質問) 大地震、台風、テロ、感染症と、市民の安全・安心を脅かす問題は、多様化・複雑化している。これらの危機事象に対しては、行政と市民が共通認識を持ち対処することが重要で、そのベースとなるのが、「総合的危機管理指針・ガイドライン」である。本市でも早急に策定すべきである。

(答弁) 来年(平成29年)早々にも策定すべく、準備を進めている。

(感想) 来年(平成29年)早々には策定すると言うことで、大変心強く思います。本市の危機管理に対する積極的な姿勢を評価します。

2. 薬局を活用した糖尿病早期発見、受診支援事業について

(質問) 今年度、川口薬剤師会では、県の委託事業の一環として「糖尿病早期発見・受診支援事業」を市内8つの薬局において実施している。しかし、県の事業としては、今年度限りで終了する予定である。今後も川口薬剤師会が簡易検査を引き続き実施するためには、受検者が実費程度の自己負担を負うことになると見込まれる。来年度以降もこの事業を市民の負担無しで継続出来ないか。

(答弁) 市では、糖尿病有病者の増加の抑制を一つの目標に掲げており、より一層力を入れて取り組む必要があるため、鋭意検討して行く。

(感想) 埼玉県内の糖尿病患者は約31万8,000人※と推計されます。市民の健康維持の観点からはもちろん、医療保険財政健全化の見地からも、「糖尿病早期発見・受診支援事業」は、大変意義ある事業と考えます。来年度以降は、市の事業として引き続き実施されるものと期待します。

※：厚生労働省、平成25年国民生活基礎調査

3. 見沼代用水路東縁を「世界一の桜並木」に

(質問) 現在、世界で一番長い桜並木とされているのが、青森県弘前市の全長20kmのもの。一方、本市を流れる見沼代用水路東縁の市内流路延長は約11km。その沿岸約7割に桜が植栽されており、本市以北は「緑のヘルシーロード」等、桜が多く植栽されている遊歩道が続いている。足りない部分を桜の植栽でつないで行けば、20km超えも決して夢では無い。世界一を実現できれば、本市の観光資源としても期待でき、埼玉高速鉄道の乗降客増・収益増にも繋がり、さらには本市の植木産業も潤うものと考えが。

(答弁) 今後も、多くの市民に利用され親しまれる遊歩道づくりを目指したい。新規の桜の植樹については、遊歩道の幅員や地域要望を踏まえ、現場調査を行い検討して行く。

(感想) 関係自治体、さらには民間との協働で、将来的に「世界一」を達成したいものです。



見沼代用水東縁の桜並木

4. 中学校の武道授業に空手道を

(質問) 岸川中学校出身の山中望未選手は、空手道カデット・ジュニア形の部で世界3連覇を果たすなど、来るべきオリンピックで、川口出身者で最も金メダルに近い選手とすることができる。また、岸川中学校や青木中学校を始め、本市の空手道は選手・指導者とも国内でもトップクラスの実力を誇っている。人と接触しない「形」ならば、怪我の心配もほとんど無く、道具も不要で、体操服で出来るメリットがあり、護身術としての効果も期待できるが。

(答弁) 教育委員会としては、更なる武道授業の充実を図る観点から、空手道についても、中学校体育主任会議を通じて、実践事例の紹介をはじめ、指導者研修会への参加を働きかけて行く。

(感想) 授業で空手を教える中学校が増えれば、裾野が広がり、オリンピック等でメダルを獲得する可能性もさらに高まると思いますので、今後も積極的な取り組みを望むところです。

5. 羽田空港機能強化に伴う川口市上空の航空路について

(質問) 羽田空港機能強化策として、川口市上空を通過する航空路が検討されている。直近の案では、C滑走路への進入コースとして、6,000ftから降下しながら、見沼親水公園付近から本市上空に進入し、本市の中央やや南寄り上空ほぼ4,000ftで直角に近く南へターンすることになっている。安全面や騒音の面で問題は無いのか。また、関係自治体住民に対する説明会について、本市では来年4月に実施の予定と聞いているが、どのような形式・内容になるのか。

(答弁) 国土交通省に確認したところ、「運用については国際的な安全基準に沿っており、安全上の問題は無いと考える。」とのこと。騒音については、本市上空を通過する際の最大騒音レベルは、おおむね56から66デシベルと、街路沿いの住宅街や通常の人の話し声のレベルより小さいとされている。住民説明会については、29年4月22日(土)11:00~16:00、キュポラ5階の中央図書館入り口前において、パネル展示や国の担当者と対話ができるオープンハウス型による説明会を開催する予定である。

(感想) 今後とも国土交通省、関係自治体等の動向を注視し、市民に対しては積極的な情報提供を行っていくことを要望しました。



こんな感じ?川口市上空を飛行する航空機

6. 消防団について

(1) 団員増強へ向けた市の取り組み

(質問) 消防団員の方々は、一朝有事の際は、現場に駆けつけ、市民の安全・財産を守るため、危険を顧みず任務に当たっている。また、平時は防災啓発活動にも従事するなど、多岐に渡って活躍されている。ところで、団員の充足率がまだ低いということだが、現在の消防団員の充足率と、団員増強に向けた市としての取り組みについてお伺いしたい。

(答弁) 団員充足率は、条例定数515人に対し、平成28年10月1日現在の団員数は429人であり、83.3%である。団員増強の取り組みとしては、「はたちの集い」や各種イベントにおいて、リーフレットを用いたPR活動を行っている。また、広報誌、キャストビジョン、FMかわぐちなど各種媒体も活用し、団員確保に努めている。

(感想) 以前、私が提案した「消防団カレンダー」の作成等も視野に入れ、今後も積極的な団員確保策の展開を期待します。



平成29年「はたちの集い」会場に設けられた消防団PRコーナー

(2) 消防団応援事業

(質問) 昨今、消防団を地域で支えていくため、地域の商店・飲食店等とタイアップして、消防団員に対する各種優遇策を展開する「消防団員応援ショップ事業」、「消防団員応援制度」等の事業を実施する自治体が増加している。県でも、このほど「埼玉県消防団応援プロジェクト」を全県で開始したとのこと。同プロジェクトの本市内での状況について、お答え頂きたい。さらに、最近では消防団の活動に協力する事務所・事業所を支援するため、減税制度等を実施する自治体も現れている。本市独自で同種の事業を実施する考えはないのか、併せてお答え頂きたい。

(答弁) 県のプロジェクトの「消防団応援の店」に登録している市内の店舗数は、現在34店舗である。現在、商工会議所や商工会にリーフレットの配布等の協力を依頼し、登録店舗の拡充を図っている。また、議員提案の減税制度等本市独自の支援事業について、調査・研究して行く。

(感想) 地域防災にとり、重要な役割を果たしている消防団員を応援するプロジェクトが、広がって行くことを期待します。加えて、従業員の消防団加入に理解・協力を頂いている企業に対しても、積極的に支援策を講じるべきと考えます。

●一般質問この記事以降、3月号に掲載

野口ひろあきが答えます。



携帯電話のQRコードリーダーで野口ひろあきのホームページにアクセスできます。

ご意見をお寄せください。下記の宛先を点線から切り離してご使用ください。

〒334-0003
川口市坂下町2-6-18-106
野口ひろあき事務所

野口ひろあき 議会報告



家族の力になります

子育て・教育、暮らし、環境、地域経済 真剣に取り組みます。

野口ひろあき プロフィール

1957年11月5日生まれ
鳩ヶ谷小／鳩ヶ谷中／蔵高／
上智大学文学部新聞学科卒
広告代理店勤務を経て現職

鳩ヶ谷市議(4期)、議長、監査委員、
総務・予算・決算・環境センター問
題調査特別・議会改革 各委員会委
員長を歴任
川口市議(2期) 総務常任委員
会委員長 都市機能・新庁舎建設
特別委員会委員 自民党川口市
議会議員団所属

川口法人会理事、鳩ヶ谷商工会
理事、川口市空手道連盟副会長、
鳩ヶ谷ロータリークラブ会員、
学校法人松陰学園 みのり幼稚園
事務長



平成27年度決算

総額3,683億5,122万円(歳入・総収益)

去る11月30日から12月21日までの日程で、平成28年第4回川口市議会定例会が開催され、市長提出議案38件、議員提案議案5件、並びに一般会計、特別会計、各企業会計の平成27年度決算が可決・承認されました。

今回、原案通り認定された川口市の平成27年度各会計決算の総額は、3,683億5,122万円(歳入・総収益)。そのうち一般会計歳入の収入済額は1,905億569万円で、26年度比7億4,708万円(0.4%)の減となっています。一方、歳出の支出済額は1,812億8,001万円で、26年度比48億3,278万円(2.7%)の増となっています。歳入歳出差引残額は92億2,568万円で26年度比55億7,987万円(37.7%)の減となっています。

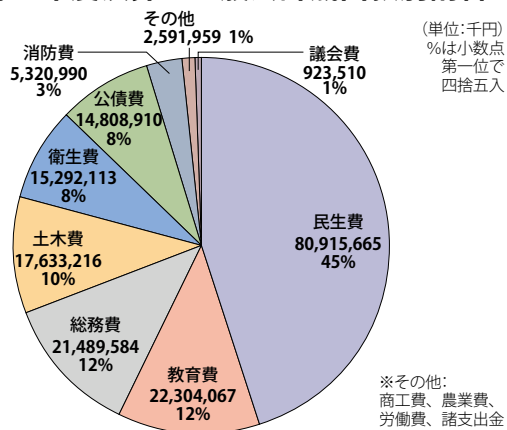
一般会計市税収納率・前年度比1.0ポイント上昇

一般会計における市税収入済額は、917億9,562万円で、26年度比4億5,550万円(0.5%)の増となっています。この主な要因は、市民税3億5,874万円、事業所税5,685万円、固定資産税4,678万円の増によるものです。また、収納率は92.5%で、26年度比1.0%向上しています。

民生費、教育費、総務費が構成比上位を占める

支出済額1,812億8,001万円の款別構成比率を見ると、民生費が809億1,567万円で全体の44.6%(前年度43.7%)。教育費が223億407万円で同じく12.3%(前年度13.0%)。総務費が214億8,958万円で11.9%(前年度7.8%)となっています。

平成27年度決算 一般会計歳出款別割合



歳出面で、前年度比増となった主なものは、総務費が77億5,935万円(56.5%)、民生費37億7,933万円(4.9%)等。逆に減となった主なものは、土木費59億2,302万円(△25.1%)、教育費5億4,969万円(△2.4%)、消防費2億5,530万円(△4.6%)等でした。

増となった主な要因は、総務費にあっては財政調整基金へ49億1,074万円、庁舎等整備基金へ15億406万円等、各基金へ積極的に積み立て

たこと。また、民生費では、保育所費の委託料で19億9,042万円、私立幼稚園支援費の負担金・補助及び交付金で11億8,117万円の増等によるものです。

平成27年度川口市決算総括表

(単位:円)

会計名	区分	歳入	歳出	歳入歳出 差引残高
一	般 会 計	190,505,687,603	181,280,012,327	9,225,675,276
特別会計	国民健康保険	73,215,118,781	73,215,118,781	0
	後期高齢者医療	5,271,052,377	5,232,471,666	38,580,711
	介護保険	32,365,281,911	31,742,955,023	622,326,888
	小型自動車	20,346,012,059	19,820,896,239	525,115,820
	下水道	11,906,923,608	11,899,054,608	7,869,000
	看護学校	281,612,656	281,612,656	0
	西口駐車場	51,357,708	47,853,457	3,504,251
	東口駐車場	160,539,742	160,539,742	0
	交通共済	54,853,696	29,169,416	25,684,280
	学童共済	6,287,069	6,287,069	0
	区画整理	6,313,948,165	6,282,018,154	31,930,011
	用地取得	65,378,167	65,378,167	0
	小計	150,038,365,939	148,783,354,978	1,255,010,961
合 計	340,544,053,542	330,063,367,305	10,480,686,237	

会計名	区分	総収益	総費用	純利益
企業計	水道	10,991,449,190	9,994,071,119	997,378,071
	病院	16,815,717,986	16,669,411,458	146,306,528
	小計	27,807,167,176	26,663,482,577	1,143,684,599

※収益的収支(消費税及び地方消費税抜き)

水道事業・病院事業とも純利益を確保

水道事業会計の総収益は109億9,144万円で、前年度比6億5,772万円(5.6%)の減。総費用は99億9,407万円で、前年度比5億1,658万円(4.9%)の減。差し引きの、当年度純利益は9億9,737万円となり、前年度比1億4,113万円(12.4%)の減となりました。

収益、総費用とも前年度比減となった主な理由は、前年度から新会計制度を適用したため、収益にあっては特別利益、総費用にあっては特別損失をそれぞれ計上しましたが、今決算ではそれぞれが減となったためです。

また、企業の財政運営の健全性・安全性を示す自己資本構成比率は60.90%と、前年度に比べ0.82%向上しています。

病院事業会計の総収益は168億1,571万円で、前年度比11億2,634万円(6.3%)の減。総費用は166億6,941万円で、前年度比39億8,097万円(19.3%)の減。純利益は1億4,630万円となっています。

収益、総費用とも前年度比減となった主な理由は、水道事業と同様ですが、それに加え、収益にあっては入院収益の減。総費用にあっては経費及び材料費の減によるものです。

また、自己資本構成比率は69.64%と、前年度に比べ0.74%向上しています。

健全な財政状況を維持

今回の決算では、これまでと同様に法で定める健全化判断比率及び資金不足比率等は基準をクリアしており、健全な財政状況と言えます。しかし、今後は3大プロジェクトを始め、多額な予算を必要とする事業が控えており、より慎重な財政運営が望まれます。

3大プロジェクト進捗順調

川口市の当面の課題・「3大プロジェクト」は、計画通り、順調に進捗しています。

新市立高校 校舎3階工事ほぼ終了

平成30年4月の開校を目指す「川口市立高等学校」建設工事は、本校舎の3階工事がほぼ終了しました。引き続き4階部分の工事に入っています。



新市立高校建設工事

なお、政府は平成29年度から、耐震性が不十分な自治体庁舎立て替え促進策を導入する予定で、本市新庁舎建設工事にも財政支援が望める見通しとなりました。

火葬施設 地上階の工事に入る

同じく平成30年4月の供用開始を目指す（仮称）赤山歴史自然公園内の（仮称）川口市火葬施設建設工事は、床のコンクリート打設が終わり、地上階の工事に入っています。昨年末には、火葬炉10基の発注も完了しています。



順調に工事が進む火葬施設建設工事

新市庁舎 市民会館の解体進む

昨年1月に基本設計及び1期棟実施設計等業務委託契約を締結。11月には新庁舎建設に伴う都市計画変更を行いました。平成30年1月の1期棟起工式に向け、現在旧市民会館の解体工事中です。



新庁舎1期棟イメージ図

急がれるホームドア設置

—相次ぐ転落死亡事故—

平成32年度末までに川口駅、西川口駅へJR東日本発表

昨年8月には東京メトロ青山1丁目駅で、今年1月には京浜東北線蕨駅で、盲導犬を連れた視覚障害者が、ホームから転落、死亡するという痛ましい事故が発生しました。

東日本旅客鉄道（JR東日本）は昨年12月、平成32年度末までに首都圏の計58駅にホームドアを設置すると発表しました。それによると、京浜東北線（大宮—横浜）では全36駅に整備するとのこと。県内では浦和駅、さいたま新都心駅に平成29年度中に、川口駅、西川口駅、蕨駅、北浦和駅、南浦和駅には平成32年度中に整備する予定となっています。

埼玉県議会でも、立石泰広議員を先頭に、ホームドアを早期に設置すべく活動を継続中です。不幸な事故を二度と起こさないために、ホームドアの設置計画の前倒し、安全確保体制の整備を我々市議団としても強く要望して行くべきと、決意を新たにしました。

横浜線町田駅に設置された「スマートホームドア」。低コストで工期短縮が可能



みんななかまバス

運行経路・時刻一部変更

平成28年12月から、みんななかまバスの運行経路と時刻の一部が変更されました。対象路線は川口・鳩ヶ谷線、青木線、神根循環、戸塚・安行循環の4路線。なお、新郷循環にあつては、車両2台による社会実験実施路線として指定され、運行便数も1日当たり13便と倍増されています。



みんななかまバス



いじめ防止条例案を可決

「いじめ対応教員」・「いじめから子どもを守る委員会」を新設

今議会に「川口市いじめを防止するためのまちづくり推進条例」が上程され、賛成多数で可決されました。

この条例は、自民党川口市議団が中心となり、議員提案として提出されたもので、「いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対応に関する市及び学校の責務。保護者、子ども関連団体及び関係機関等並びに市民の役割を明らかにする」こと等を定めています。「地域社会を挙げて、子どもが将来に対して明るい希望が持てる環境の中で生活し、学び、及び健やかに成長することができるまちを実現すること」をその目的としています。

本条例の特色としては、各市立学校に「いじめ対応教員」を置くこと。いじめ(疑いがある場合も含む)に関する相談に応じ、必要な調査、調整を行うため、「川口市いじめから子どもを守る委員会」を新設すること等が挙げられます。同委員会は市長部局が管轄し、委員は市長が委嘱します。

この条例がいじめにより、つらく悲しい思いをしている子ども達の大きな救いとなることを期待します。

子育て支援・教育環境整備

日本一子育てしやすい街を目指して

急速に進む少子・高齢化により、全国の約1,800市区町村中、49.8%に当たる896自治体が、数年から数十年の間に消滅してしまう可能性があると言われています。一方、川口市は昨年9月に人口59万5,000人を超え、毎月増加しており、政令指定都市を除けば全国で3番目の人口を有する大都市として成長を遂げています。

市長始め行政と議会と与党派では、「選ばれるまちづくりの推進」を旗印として、各種事業を展開しています。その中でも「日本一子育てしやすいまち」を目指して進める、子育て支援・教育環境整備の各種施策は着実に進展しています

放課後児童クラブ預かり時間延長

通常：18：30までを19：00まで延長可能に

今議会に「川口市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例」が上程され、全会一致で可決されました。4月1日から、通常18時30分までの実施時間を19時00分まで延長できるようになります。通常時間の利用に係る利用料は、児童1人につき月額7,000円と変更は無く、延長時間の利用については、児童1人につき月額2,000円です。また、減免の基準についても変更ありません。なお、この取り組みは試行的に実施するものです。

小中学校全教室にエアコン設置完了

「教室がすぐに暖まる」と冬場も好評

平成27年度予算で市立中学校、及び幼稚園に、28年度予算で市立小学



市内中学校に設置されたエアコン室外機・室内機（電気）

校に設置を進めていた、全教室へのエアコン設置が昨年夏前に完了しました。「夏場は、体育の授業や部活が終わってすぐに、勉強する体勢に入ることができ、冬場は、教室内の空気を汚すことなく、スムーズに暖まる。」と子ども達や教員からの評判も上々です。

保育所（園）定員増

29年4月までに約3,000名(25年度比)の定員増

今議会には、(仮称)南平保育所建築工事、(仮称)朝日西保育所改築工事等の契約議案が上程されました。待機児童を一刻も早く解消することは、喫緊の課題です。奥ノ木市政では、スタートから3年で、約3,000人分の保育所定員増を達成しました。

今後は、保育士不足の最大の課題である給与待遇の改善を急務に、さらなる子育て環境の整備に努めて参ります。

	施設数				定員			
	認可	小規模	定員変更	施設増*	認可	小規模	定員変更	定員増
25年度整備26年度開所	4			4	285			285
26年度整備27年度開所	11	30	1	41	741	470	5	1216
27年度整備28年度開所	3	7		10	229	115		344
28年度整備29年度開所	11	9	7	20	835	156	22	1013
	29	46	8	75	2090	741	27	2858

※定員変更含まず

平成29年度定員 9,095人 - 平成25年度定員 6,237人 = 定員増加数 2,858人

幼稚園就園奨励費・入園料補助金

県内トップの水準・保護者の負担軽減

川口市では、私立幼稚園の園児保護者の方に対し、私立幼稚園就園奨励費補助金、及び私立幼稚園園児保護者補助金、無認可幼稚園(舎)園児保護者給付金を給付しています。補助単価は1名当たり22,000円～308,000円(平成27年度決算ベース)で、これは県内でも最高水準です。

さらに、平成28年度には私立幼稚園長時間預かり推進事業補助金、同入園料補助金も開始され、保護者の負担軽減と幼児教育における環境整備が進んでいます。

商品券発行支援事業補助金

プレミアム付き“元気”川口商品券、今年も発行へ

約5億円の消費拡大効果を期待

今回可決された平成28年度川口市一般会計補正予算(第4号)中、商工振興費として商品券発行支援事業補助金・1億7,550万円があります。これは、市民の皆様おなじみの「プレミアム付き商品券」発行事業に対する補助金で、プレミアム分、及び事務経費等を市が負担するものです。

今回は、国・県からの補助は無く、市の単独事業となります。そのため、前回に比べ若干、規模は縮小となりましたが、これまでの実績を勘案する

と約5億円の消費拡大効果が期待されます。

なお、発行総額は11億5,000万円。予約受付は平成29年1月18日から2月12日まで。専用応募ハガキ付きパンフレット設置場所は、川口市役所本庁舎、鳩ヶ谷庁舎、支所、公民館、川口商工会議所、鳩ヶ谷商工会、市内一部金融機関、商品券加盟店です。